



ゆたかっ子

令和2年度
 学校だより 6月号 ⑧
 豊見城市立ゆたか小学校
 豊見城市字豊見城 601番地 1
 TEL850-663 FAX850-3940
 校長 宮平 やすみ



いさゆ

戦世から75年 平和を祈る心は永遠に



75年前、住民を巻き込んだ唯一の地上戦。県民の4人に1人の尊い命を、約20万人もの命を奪った沖縄戦。毎年、6月23日「慰霊の日」は、あの悲惨な戦世で精一杯生きようとした私たちの祖先の姿に思いを馳せ、その悲壮な思いを受け止め、そして未来を生きる子ども達の平和を願う日です。新型コロナウイルスの影響で、戦争体験者の講話やボランティアによる読み聞かせ等、例年のような平和旬間の取り組みはできませんが、過去の戦争から命の尊さを学び、平和を願う心を育てる平和学習は今年も実施しています。「家族を大切に思う心」「友だちを大切に思う心」「相手の気持ちを大切に思う心」「二度と戦争を起こしてはならないと強く願う心」そして、「自分も他人も大切な存在であること」を一人一人が実感し、身近なところで「平和」につながる行動を考えることができる、そんな平和旬間になるように各学年で取り組みます。

今年もできたよ！学校の中に「ゆたか平和祈念資料館」



図書委員、美化掲示委員、思いやり委員の6年生が協力して作りました。ありがとう！



ゆたかっ子 664名の顔写真で作った PEACEART (ピ-アート)



平和を願う心を育てるために各学級で平和学習に取り組みました。読み聞かせ・読書・平和メッセージ・詩や図画・体験者のビデオ視聴新聞等、これからも大切にしたい取組です。



2020 06 22



1年生 読み聞かせ 「平和ってすてきだね」

2020 06 22

平和のメッセージ

今と昔

六年 知念 音和

真っ青な空

青色の光る海とサンゴ礁

緑色の草原

すがすがしい心

今の情景は昔の情景とちがう

煙でおおわれる黒い空

燃え上がる火の海

焼け野原になった草原

不安でもやもやした心

だれもおびえ

だれもがこわがり

だれもが悲しむ

七十五年前の出来事

でも今はちがう

もう二度と

あの日をくり返さないように

いつもの日々を

大切に



「平和」とは

二年 金城 ゆうか

・せんそうしない
・かぞくと楽しく生活できる

二年 大城 こうすけ

・おいしいものをたべられる
・べんきょうができる

二年 玉城 ゆうひ

・おいしいものをたべる
・友だちとあそべる
・どこにでも行ける

二年 東里 さち

・けんかをしない
・ごはんをたべられる
・あさまでぐっすりねむれる

五年 譜久山 莉子

わたしは、おじいちゃんから沖縄戦の話の聞きましました。自分の体の中にある命は死ぬために生まれてきたのではなく、生きるための命なのだと思います。沖縄戦の時、私は生まれてなかったのですが、おじいちゃんの話聞いてこんなことがあったんだと思いました。とても心が傷つく話でした。

学校に行けない、平和な日常がおくれないまま亡くなった子ども達の分、学校を楽しみたいと思いました。「大切な命」

四年 濱松 きっか

わたしが新聞を読んで思ったことは、本当は死にたくないのに死なないといけないことはとてもかわいそうだなと思ったし、戦争はこんなに人がいなくなったり、自殺する人も出てきてこわいなと思いました。だから、戦争を起こさないために、けんかをしてもすぐに仲直りしたり、いじめや差別をしないようにしたいです。そして、ごはんが食べれることや、学校に行けること、家族、友達がいることにかんしゃしたいです。

これからも、戦争のない平和な日本にしていきたいです。

三年 永山 さな

命はひとつしかない。大切。わたしは命をおとしたくない。学校では、勉強をがんばって、やさしい人になりたいです。

三年 安仁屋 ふうた

命の大切さ。命がなくなったら死んでしまう。だから自分の身は自分で守っていききたいです。平和でけんかのない世界にしたいです。

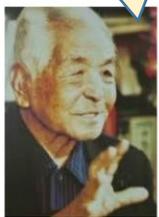
六年「平和学習」

六年は総合「戦争の背景や人々の思い」で、久保田曉さんをお招きして、0歳の頃の体験を語っていただきました。話が進むごとに子ども達の表情は真剣な眼差しに変わりました。

母の背中で2歳の兄は幼い命を失いました…



ヌチド ャタカラ
命こそ宝



沖縄のガンジー
あはごんしょうこう
阿波根昌鴻さん